



日中国交正常化40周年記念／紀念中日邦交正常化40周年  
2012「日中国民交流友好年」認定行事／「中日国民交流友好年」認定活動



第十五届上海国际电影节 正式活動  
第十五回上海国际映画祭 正式イベント



# 2012北京／上海・日本映画週間

IN 北京 2012年6月14日（木）～6月19日（火）  
IN 上海 2012年6月16日（土）～6月22日（金）



— 実施報告書 —

日中友好映画祭実行委員会  
2012年8月8日

## はじめに

日中国交正常化40周年を迎えた2012年、「日中友好映画祭」はお陰様で7年目を迎えました。そして、2012「日中国民交流友好年」の認定事業として、中国国家広播電影電視総局電影管理局と日中友好映画祭実行委員会の共同主催、国際交流基金の助成により、「日中国民交流友好年」の「新たな出会い、心の絆」をテーマとした「2012北京/上海・日本映画週間」が中国北京と上海にて盛大に行われました。会期中、3.11震災後に制作された日本の最新映画12本が北京・上海市内のシネコンで上映され、中国の人々が日本に対する良好な印象と感情を促進し、喜ばしい成功を収めました。

日中国交正常化40周年の重要な記念事業として、今回の日本映画週間の北京・上海開幕式は、中国国家広播電影電視総局電影管理局と日本国際交流基金及び在中国日本国大使館の高く重視されました。北京では、中国側を代表して、中国国家広播電影電視総局電影管理局局長・童剛様が、日本側を代表して、在中国日本国大使館特命全権公使・堀之内秀久様、国際交流基金理事・櫻井友行様が開幕式とレセプションパーティーに出席して下さいました。上海では、中国側を代表して、中国国家広播電影電視総局電影管理局副局長・喇培康様、上海国際映画祭実行委員会チェアマン・任仲倫様が、日本側を代表して、国際交流基金理事長安藤裕康様、上海総領事館総領事・泉裕泰様が上海開幕式とレセプションパーティーにご出席下さいました。また、栗原小巻様が引率した日本映画週間代表団の監督・俳優陣も開幕式とレセプションパーティーに参加し、日本の映画人としての魅力と風貌を魅せつけ、現地映画ファンの熱烈な歓迎を受けました。レセプションパーティーのためにアレンジしたダンスとバンドGYPSYQUEENの演奏は、日中友好交流現場の雰囲気最高に盛り上げました。特に、周恩来総理の元秘書兼日本語通訳の林麗韞様が日中国交正常化の歴史的瞬間の参加者として、北京開幕式とレセプションパーティーに足を運んでください、日中国交正常化40周年映画記念イベントの意義あるひと時を見届けて下さいました。

今回の「2012北京/上海・日本映画週間」の作品は、それぞれの優秀な品質と独特な感動で中国映画ファンの中で幅広い賞賛を得ました。日本文化は又もスクリーンの「光」と「影」を通して、中国若い世代が日本に対する大きな関心と共感を引き起こしました。日本映画週間のチケットも例年と相変わらずの人気の、「日本映画週間、早くもチケット完売」という記事が様々な中国媒体で見かけるようになりました。中国最大手ポータルサイトSOHUは、日本映画週間の独占メディアパートナーとして、「2012北京/上海・日本映画週間」が北京・上海で開催される真っ只中に、本イベントと連携して、放映権を持っている過去の日本映画作品26本を大放出し、日本映画週間の特別サイトに、専用の動画チャンネルまで開設しました。「日本映画と恋をしよう」をテーマに、家族・侍・コメディ・純愛・社会の様々なジャンルの作品を提供し、日本映画の魂とも言えるコレクションとして、小津安二郎監督など大御所の代表作からアカデミー賞まで受賞した滝田洋二郎監督の作品まであらゆる喜怒哀楽を幅広く網羅した日本映画をアピールしました。

日中友好映画祭実行委員会は設立してからの7年間、映画上映や映画人と観客の交流を通して、両国の文化、経済、観光などの産業の交流を促進し、両国国民の感情を深め、本当の互惠関係の構築を望んで努めて参りました。また、スクリーンを通して、より多くの中国の人々に日本人の内心や生活、価値観など、特に若い世代同士の交流と理解を促進し、震災後の日本の復興に些細な力になれることを望んでおります。

「2012北京/上海・日本映画週間」の成功なる開催は、国際交流基金のご支援のもと、中国国家広播電影電視総局電影管理局、日中友好映画祭実行委員会、上海国際映画祭実行委員会、上海電影（集団）有限公司の共同主催で行われました。「日中友好映画祭」は各界のご支援とご協力のもと、無事に開催されることができましたことを、この場をお借りして深くお礼を申し上げます。

今年の秋、日中友好映画祭実行委員会は引き続き、中国国家広播電影電視総局電影管理局及び中華人民共和国駐日本国大使館、日本外務省、経済産業省、総務省、観光庁などのご協力のもと、10月20日から10月28日まで、東京と沖縄にて「中国映画週間」を開催致します。私達は、「日中友好映画祭」の開催を通して、日中両国がどのような障壁にぶつかっても、両国民の絶えない相互理解と真摯な交流で、本当の友好的互惠関係は築けるものだと確信しております。そして映画は必ず、両国の友好関係者の努力のもと、日中両国の新しい共通の言葉になり、日中友好関係の発展を推進し続けると思います。

これをもって日中国交正常化40周年の記念と致します。

# イベント概要

【主催】 中国国家広播電影電視総局電影管理局、中日友好映画祭実行委員会  
上海国際映画祭実行委員会、上海電影（集团）有限公司

【助成】 独立行政法人 国際交流基金

【後援】 中国国家広播電影電視総局／外務省／経済産業省／総務省／観光庁

【特別協力】 一般社団法人 日本映画製作者連盟／一般社団法人 映画産業団体連合会／中国日本商会／  
上海日本商工クラブ／独立行政法人 日本貿易振興機構(JETRO)／独立行政法人 国際観光振興機構  
(JNTO)／日中経済協会／日本中国文化交流協会

【協力をいただいた映画会社】

松竹株式会社／東宝株式会社／株式会社角川書店／日本テレビ放送網株式会社／TBSテレビ／  
ギャガ株式会社／ショウゲート／讀賣テレビ放送株式会社／株式会社ポニーキャニオン／  
The Match Factory

【ご祝辞をいただいた皆様】

外務省大臣 玄葉光一郎様

中国中共中央宣伝部副部長・中国国家広播電影電視総局局長 蔡赴朝様

経済産業省大臣 枝野幸男様

在中国日本国大使館 特命全権大使 丹羽宇一郎様

国際交流基金理事長 安藤裕康様

中国国家広播電影電視総局電影管理局局長 童剛様

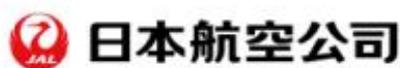
一般社団法人 日本映画製作者連盟 大谷信義様

上海国際映画祭組織委員会執行副主席・上海電影（集团）有限公司総裁 任仲倫様

日中文化交流協会副会長 栗原小巻様

中国電影家協会主席 李前寛様

## ☆協賛



## ☆特別感謝



# ご祝辞

外務大臣  
玄葉光一郎様



玄葉光一郎

中国中共中央宣伝部副部長  
中国国家広播電影電視総局局長  
蔡赴朝様



蔡赴朝

経済産業省大臣  
枝野幸男様



枝野幸男

本年は日中国交正常化40周年という重要な節目の年です。これを祝うため、日中両国は、首脳間の合意に基づき、本年を「日中国民交流友好年～新たな出会い、心の絆～」として、全面的な国民間交流、文化交流を推進しています。今回の「2012北京／上海・日本映画週間」もその一環として行われるものと伺っています。

私自身、映画鑑賞が趣味であり、中国の作品も多く拝見しています。特に、張藝謀監督の初期の作品や「胡同の理髪師」は大のお気に入りです。こうした良い作品に互いに触れ合うことにより、相手の国、文化への関心が生まれ、理解が進むものと考えています。今回の「2012北京／上海・日本映画週間」では、多くの日本の作品が上映されます。これらの作品を通じて、是非多くの方々に日本に対する関心を持ち、理解を深めて頂くことを期待しています。

最後に、「2012北京／上海・日本映画週間」の成功が「日中国民交流友好年」に鮮やかな花を添え、たくさんの新たな出会いや心のふれ合いのきっかけをつくり出すことを心から祈念いたします。

外務省  
外務大臣 玄葉光一郎

日中国交正常化40周年を記念して、「2012北京／上海・日本映画週間」を行います。この映画祭の開催に、わたしは中国国家広播電影電視総局を代表して心からお祝い申し上げます。

ここ数年、映画交流は両国の文化交流の中で大きな意義を持つと同時に重要な役目を果たしています。この映画祭は多くの優秀な日本映画新作を集め、中国国民に日本の映画文化や日本映画の素晴らしさを紹介します。本映画祭の開催により両国の映画界の交流や合作がより盛んになり、両国民の理解と友好がより深まることを期待します。

最後になりましたが、「2012北京／上海・日本映画週間」の成功をお祈り申し上げます。

中国国家広播電影電視総局  
局長 蔡赴朝

「2012北京／上海・日本映画週間」にようこそ。今回は、毎年日本で製作される400以上の映画作品から、特に秀逸で人気を博した12本を厳選して上映します。是非お楽しみください。

中国でも日本のアニメ映画を御存知の方はおられると思いますが、実写映画にも文化・歴史・人情などにスポットを当てた素晴らしい作品がたくさんあります。この機会に日本映画の新たな魅力に触れていただくと幸いです。

今年は、日中国交正常化40周年の節目の年です。この映画週間を通じて日本の素晴らしい場所や優れた文化を知り、日本を訪れる方が増えるよう願っています。両国の人々が行き来することで、新たな出会いが生まれ、相互の理解が深まると期待しております。

経済産業省  
経済産業大臣 枝野 幸男

# ご祝辞

在中国日本国大使館  
特命全権大使  
丹羽宇一郎様



丹羽 宇一郎

国際交流基金理事長  
安藤裕康様



中国国家広播電影電視総局  
電影管理局局長  
童剛様



「2012北京/上海・日本映画週間」の開催にあたり、心よりお祝い申し上げます。

今年は日中国交正常化40周年です。両国は今年を「日中国民交流友好年」として、「新しい出会い、心の絆」というキャッチフレーズの下、積極的に日中の交流活動を推進していきます。

両国国民が直接、身近に接することのできる映像を通じての交流は、日中両国多くの国民が相互理解を深め、さらなる発展を遂げる重要な役割を担っています。しかしながら、中国で放映される日本の作品はまだ少なく、もっとたくさんの方に、映像を通じて日本を理解してもらうことが重要だと考えています。今回を機に、多くの方が映像交流に触れ、良好な日中関係の基礎を築くきっかけとなることを期待します。

最後に、「2012北京/上海・日本映画週間」の開催にご尽力された関係者のみなさまに敬意を表するとともに、日中友好関係の益々の深化を祈念し、祝辞といたします。

駐中華人民共和国日本国特命全権大使  
丹羽 宇一郎

30年以上前に中国で話題になった『君よ憤怒の河を渡れ』以来、様々な日本映画が中国の皆様に親しまれてきました。今回上映される作品は、日本の若者たちの抱える悩みや希望を語ったものが数多く含まれており、現代日本映画の多様性を誇るものばかりです。

日本文化を紹介する国際交流基金として、このような上映会のお手伝いができることを光栄に思うとともに、新しい日本像を発見して頂きたいと切に願っております。

国際交流基金  
理事長 安藤 裕康

この度、日中国交正常化40周年記念事業「2012北京/上海・日本映画週間」が中国で開催されることを、私は中国国家広播電影電視総局電影管理局を代表して心よりお祝い申し上げます。

日本と中国は一衣帯水の隣国であり、文化交流は遥か昔から続いていますが、近年は映画の交流が著しく盛んになっています。今回の日本映画週間のイベントが両国民の相互理解や友情に大きく貢献すること、また両国の映画関係の交流及び合作に更なる拍車をかける事を希望いたします。

日中両国の映画交流事業に関心を寄せ、支えてくださった皆様に感謝いたします。「日中国交正常化40周年記念事業 2012北京/上海・日本映画週間」が成功を収める事をお祈り申し上げます。

中国国家広電総局電影管理局  
局長 童剛

# ご祝辞

一般社団法人  
日本映画製作者連盟会長  
大谷信義様



大谷 信義

昨年、北京と上海で開催された「日中映像交流事業」が大きな成果を上げたことは、大変、喜ばしいことであります。

そして、「日中国交正常化40周年」に当たる節目の年に、引き続き「2012北京／上海・日本映画週間」が開催されますことを心よりお祝い申し上げます。

我が国は、未曾有の震災から1年余、貴国からの温かいご支援を賜り、復旧、復興を進めているところであり、日中両国の深い絆を改めて痛感するところであります。

このような状況の中、本事業を通して、両国の文化交流が益々活発となり、互恵関係が深まることを期待しています。

最後に、本事業の開催に向けて尽力された皆様に深甚なる敬意を表するとともに、ご成功をお祈りいたします。

一般社団法人 日本映画製作者連盟  
会長 大谷 信義

上海国際映画祭チェアマン  
上海電影（集団）有限公司総裁  
任仲倫様



任仲倫

今年は日中国交正常化40周年であり、両国民がさまざまな記念イベントを行っています。上海国際映画祭と東京国際映画祭のそれぞれの期間に映画週間を設ける事はここ数年恒例となっておりますが、今年は特に重要な意味を持つと考えています。

今回の日本映画週間のために選ばれた作品は、歴史映画、現代映画、実写、アニメなど日常に深く根付き、人々の心の機微を表現した、芸術性の高い作品ばかりです。これらの優れた作品を通じて、わたしたちは多くの映画製作者の意気込みと才能を感じることができます。また日本映画が中国市場において重要な創作エネルギーとして際立っていることも理解できます。

このほか国交正常化40周年を記念して、両国の若い監督が意図的に日中を繋ぐテーマを選び、それぞれの国の俳優が参加した合作映画を撮ったことに深い喜びを感じます。

近年、中国映画産業の発展スピードは目覚ましく、興行収入は二桁成長を続けており、映画は中国の主要な娯楽として、また芸術として位置づけられています。

今回の日本映画週間の開催に伴い、日本の文化、生活、人情に対する中国国民の理解がより深まり、様々な方面で交流や連携が行われると信じています。

「2012北京／上海・日本映画週間」が成功に開催されることにお祝い申し上げます。

上海国際映画祭副主席  
上海映画（集団）有限公司総裁 任仲倫

## ご祝辞

日中文化交流協会副会長  
栗原小巻様



栗原小巻

「2012北京／上海・日本映画週間」の開催、心から嬉しく思っております。映画交流の目的は、異なった言語、異なった文化を持つ日本と中国の二つの国が、相互理解を深め、揺るぎない信頼を構築することにあります。映像は、人の内面、社会の現実を映し出す鑑。この映画交流の実現で、わたくしたちは、未来に、大きな希望を抱いています。

それは、永遠の友情という理想です。中国の皆様とわたくしたち日本人の心と心の交流は、文化交流に携わるすべての人の誓いと約束です。日本映画週間の小さな、しかし強い灯火は、明るく、光り輝くと確信しています。わたくし個人も映画交流を通じて、中国の皆様から暖かい愛情を伝えていただきました、人生の決して忘れ得ぬ感謝です。

わたくし個人も中国の皆様を深く、大切に想っていることを、お伝えして、ご挨拶とさせていただきます。

日中文化交流協会  
副会長 栗原 小巻

中国電影家協会主席  
李前寬様



李前寬

花咲く春に、日中の友好の樹がまた一回り年輪を増しました。両国国交正常化40周年に、この友好の樹が永遠に青く茂ることを心からお祈りします。

日本と中国は一衣帯水の隣国であります。同じ空の下、映画は私たちを結びつけ、輝かしい未来に向かって両国の映画関係者がより友好的に交流、合作することを希望いたします。

「2012北京／上海・日本映画週間」が成功に開催されることに祝い申し上げます。

中国映画家協会  
主席 李前寬

# 実施概要 その1

- イベント名称：2012北京・日本映画週間
- 期間：2012年6月14日（木）～6月19日（火）
- 会場：万達国際影城(CBD) / 北京万達索菲特大酒店



万達国際影城(CBD) スクリーン9



北京万達索菲特大酒店7F 大宴会厅

- 上映作品：『ALWAYS 三丁目の夕日'64』 『神様のカルテ』 『岳』 『アントキノイノチ』 『忍たま乱太郎』 『キツツキと雨』 『ステキな金縛り』 『奇跡』 『CUT』 『東京公園』 『琉神マブヤー THE MOVIE』 『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら』  
\*計12作品、 \*各作品は2回ずつ上映

- 上映会場：当代MOMA百老匯電影中心 / 北京百麗宮影院(国貿)

## ●主なイベント

- ◇「2012北京・日本映画週間」開幕式：6月14日（木）14:30～18:00 @万達国際影城(CBD) スクリーン9
- ◇レセプションパーティー：6月14日（木）19:00～21:00 @北京万達索菲特大酒店7F 大宴会厅
- ◇映画『東京公園』舞台挨拶：6月14日（木）19:45～21:45 @当代MOMA百老匯電影中心
- ◇映画『琉神マブヤー THE MOVIE』舞台挨拶：6月14日（木）20:30～22:30 @北京百麗宮影院(国貿)

## ●主催など

【主催】中国国家廣播電影電視總局電影管理局、中日友好映画祭実行委員会

【助成】 独立行政法人 国際交流基金

【後援】 中国国家廣播電影電視總局 / 外務省 / 經濟産業省 / 総務省 / 観光庁

【特別協力】 一般社団法人 日本映画製作者連盟 / 一般社団法人 映画産業団体連合会 / 中国日本商会 / 上海日本商工クラブ / 独立行政法人 日本貿易振興機構(JETRO) / 独立行政法人 国際観光振興機構(JNTO) / 日中經濟協会 / 日本中国文化交流協会

【協力をいただいた映画会社】 松竹株式会社 / 東宝株式会社 / 株式会社角川書店 / 日本テレビ放送網株式会社 / TBSテレビ / ギャガ株式会社 / ショウゲート / 讀賣テレビ放送株式会社 / 株式会社ポニーキャニオン / The Match Factory

- 企画運営：株式会社ムーランプロモーション

- 運営協力：維酷公共關係諮詢(上海)有限公司北京分公司 北京赤見廣告傳媒有限公司

## 実施概要 その2

- イベント名称：2012上海・日本映画週間
- 期間：2012年6月16日（土）～22日（金）
- 会場：上海影城／上海日航ホテル／新衡山電影院／永華電影城／大光明電影院  
世紀大上海電影院／UME新天地國際影城／上海萬達國際電影城／星光影城 など



上海影城



上海日航ホテル

- 上映作品：『ALWAYS 三丁目の夕日'64』『神様のカルテ』『岳』『アントキノイノチ』  
『忍たま乱太郎』『キツツキと雨』『ステキな金縛り』『奇跡』『CUT』  
『東京公園』『琉神マブヤー THE MOVIE 七つのマブイ』  
『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら』  
\* 計12作品、各作品は3回ずつ上映
- 上映会場：上海影城／新衡山電影院／永華電影城／大光明電影院／世紀大上海電影院  
UME新天地國際影城／上海萬達國際電影城／星光影城 など
- 主なイベント
  - ◇第15回上海國際映画祭レッドカーペット：6月16日（土） 18:30～20:00 @上海大劇院
  - ◇「2012上海・日本映画週間」開幕式：6月17日（日） 14:00～17:30 @上海影城
  - ◇レセプションパーティー：6月17日（日） 19:00～21:00 @上海日航ホテル
  - ◇映画『CUT』舞台挨拶：6月16日（土） 13:30～15:20 @環芸電影城スクリーン2
  - ◇映画『琉神マブヤー THE MOVIE』舞台挨拶：6月16日（土） 13:30～15:20 @上海影城スクリーン2
  - ◇映画『東京公園』舞台挨拶：6月17日（日） 20:45～ @環芸電影城スクリーン2
  - ◇上海國際映画祭出品作品『麒麟の翼』舞台挨拶：6月16日（土） 20:45～ @上海影城スクリーン1
  - ◇上海國際映画祭出品作品『女優』舞台挨拶：6月18日（月） 18:30～ @世紀大上海電影院スクリーン2
- 主催など
  - 【主催】 中国国家廣播電影電視總局電影管理局、中日友好映画祭実行委員会  
上海國際映画祭実行委員会、上海電影（集團）有限公司
  - 【助成】 獨立行政法人 國際交流基金
  - 【後援】 中国国家廣播電影電視總局／外務省／經濟産業省／總務省／觀光庁／在上海日本國總領事館
  - 【特別協力】 一般社団法人 日本映画製作者連盟／一般社団法人 映画産業団体連合会／中国日本商会／  
上海日本商工クラブ／獨立行政法人 日本貿易振興機構(JETRO)／獨立行政法人 國際觀光  
振興機構(JNTO)／日中經濟協會／日本中國文化交流協會
  - 【協力をいただいた映画会社】 松竹株式会社／東宝株式会社／株式会社角川書店／日本テレビ放送網株式  
会社／TBSテレビ／ギャガ株式会社／ショウゲート／讀賣テレビ放送株式  
会社／株式会社ポニーキャニオン／The Match Factory
- 企画運営：株式会社ムーランプロモーション
- 運営協力：電通テック(北京)廣告有限公司上海分公司 北京赤見廣告傳媒有限公司

# 上映作品一覧

★オープニング上映作品



『ALWAYS 三丁目の夕日'64』  
(2012年) 山崎貴監督、日テレ



『東京公園』(2011年)  
青山真治監督、  
ショウゲート



『琉神マブヤー THE MOVIE  
七つのマブイ』(2012年)  
佐野智樹監督、読売テレビ



『CUT』(2011年)  
アミール・ナデリ監督、  
The Match Factory



『神様のカルテ』(2011年)  
深川栄洋監督、東宝



『ステキな金縛り』(2011年)  
三谷幸喜監督、ポニーキャニオン



『キツキと雨』(2011年)  
沖田修一監督、角川映画



『奇跡』(2011年)  
是枝裕和監督、ギャガ



『岳』(2011年)  
片山修監督、東宝



『アントキノイノチ』(2011年)  
瀬々敬久監督、松竹



『忍たま乱太郎』(2011年)  
三池崇史監督、  
ワーナー・ブラザーズ映画



『もし高校野球の女子  
マネージャーがドラッカーの  
「マネジメント」を読んだら』  
(2011年) 田中誠監督、TBSテレビ



【第15回上海国際映画祭】  
日本映画特集部門作品

『麒麟の翼 ～劇場版・新参者～』  
(2011年) 土井裕泰監督、  
TBSテレビ



【第15回上海国際映画祭】  
日本映画特集部門作品

『女優』(2012年)  
寺西一浩監督、DECCI

## 「2012北京/上海・日本映画週間」オープニング上映作品



『ALWAYS 三丁目の夕日'64』（2012年）

監督：山崎貴 脚本：古沢良太、山崎貴 原作：西岸良平

主演：吉岡秀隆、堤真一、小雪、堀北真希、薬師丸ひろ子、須賀健太

配給：日本テレビ放送網株式会社 上映時間：144分

ストーリー：

昭和39年（1964年）——東京オリンピックが開催されるこの年。そんな中、東京下町の夕日町三丁目では、5年前と変わらず、個性豊かな住民たちが元気に暮らしています。

小説家の茶川竜之介は、ヒロミと結婚し、高校生になった古行淳之介と3人で仲良く生活していました。茶川は、「冒険少年ブック」の看板作家として、連載を続けていますが、新人小説家の作品に人気を奪われつつありました。

一方、鈴木則文とその妻・トモエ、一人息子の一平、住み込みで働く星野六子が暮らす鈴木オートは、順調に事業を拡大し、店構えも立派なものに。六子にも後輩の従業員ができ、厳しく指導をする姿はすっかり一人前。そんな六子は、毎朝おめかしをして家を出て行きます。それは、通勤途中の医者・菊池孝太郎とすれ違い、朝の挨拶をかわすためでした。

新人小説家の意外な正体とは？ 六子の恋の行方は？ そして、三丁目の人たちにはどんな未来が待ち受けているのでしょうか？

★イントロダクション：

『Always三丁目の夕日'64』は二時間の短い時間の中で、観客に世の中の艱難辛苦と喜怒哀楽を感じさせる作品である。ストーリーは盛りだくさんだが、感動的なシーンと大きな転換だけではなく、些細なところもよく描写されている。見るうちに、私は映画の中の人物と一緒に興奮し、喜び、怒っていたが、最後には感動して、わんわんと泣いた。

経済が高速で発展している現在、誰でも立身出世を求め、金のために頑張っている。しかし、私たちにとって、本当の幸せは一体何だろうと問いかけるのが、この映画のテーマである。この映画を見て、みなさんも自分の答えを見つけると私は信じている。



オープニング上映の様子@北京



オープニング上映の様子@上海

## 上映作品紹介



『神様のカルテ』（2011年）

監督：深川栄洋 脚本：後藤法子 原作：夏川草介

主演：櫻井翔、宮崎あおい、要潤

配給：東宝 上映時間：128分

ストーリー：

美しい自然に囲まれた信州の一地方都市・松本。勤務5年目の青年内科医・栗原一止は、医師が不足しながらも“24時間、365日対応”で大勢の患者を抱える本庄病院に勤めている。この小さな病院では専門外の診療をしたり、働き詰めで睡眠が取れなかったりすることが日常茶飯事。それでも一止は、クールな先輩外科医・砂山次郎、有能で美人の救急外来看護師長・外村静枝、同期の冷静沈着な病棟主任看護師・東西直美、新人看護師・水無陽子、曲者上司・貫田誠太郎らと共に厳しい地方医療の現実と向き合いながら、同じアパート“御嶽荘”に住む大家兼絵の描けない画家・男爵、博学な大学生・学士との語らい、そして何よりも最愛の妻・榛名との心温まるひとときに日々の疲れを癒しながら激務を凌いでいた。ある日、大学病院から見放された末期がん患者、安曇雪乃が現れる。安曇と触れ合う中で、一止は医療とは何かを考え始める。そんな時、大学病院に勤めないかという誘いが...

★イントロダクション：

この映画の全体的な雰囲気は非常に良いし、音楽も素晴らしい。栗原さんの設定は天然ボケで萌え萌えであるのは実に予想外だ。栗原さんのような人は、人に安心感を与えて、暖かい気持ちにする。この映画も典型的な日本の暖かくてロマンチックな映画だと思う。ストーリーのリズムは穏やかで、何か言いたそうだが必死に押し付けようとはしていない。細かいところは工夫しており、感情が溢れ出したところも巧みに強調してある。ピアノの曲がずっとバックとして流れているのもいい感じだと思う。

ついでに言うと、加賀真理子さんの演技は本当に上手で、気品高い女性であると思う。



『岳』（2011年）

監督：片山修 脚本：吉田智子 原作：石塚真一

主演：小栗旬、長澤まさみ、佐々木蔵之介

配給：東宝 上映時間：125分

ストーリー：

島崎三歩は、世界中の山に登り、山の楽しさ、山の厳しさ、山の美しさを知り尽くした山岳救助ボランティア。山の素晴らしさを多くの人たちに知ってもらいたいという三歩は、たとえ自分の過失で遭難した者であっても、決して責めることはしない。仮に要救助者が死亡していたとしても、その遺体に向かって「よく頑張った」と労わりの言葉をかける男である。そんな三歩の暮らす山に、北部警察署山岳救助隊に配属されたばかりの椎名久美がやってくる。久美は、同じ山岳救助隊の隊長・野田や三歩の指導の下、厳しい訓練をこなして新人女性隊員として着実に成長していく。しかし、実際の救助では自分の未熟さや大自然の猛威により、遭難者の命を救うことが出来ない日々が続く。打ちひしがれ自信をなくす久美。そんな折、猛吹雪の雪山で多重遭難が発生.....

★イントロダクション：

この映画は同類の映画とは違って、豪気な感情と雄々しい志を感じないし、危険な状況から出てきた圧迫感もない。その代わりに、きちんと整っていた流れと、円満な叙述、場面に適した演技があり、根底には人類の征服の欲望が常にある。自然と戦い、嵐と駆け比べ、いくら困難があっても、決して諦めずに頑張っている主人公のすがた。彼は高嶺に対していつもでも登りたい気持ちを持っている。何故なら、下界では見られない美しい風景が見られるからだ。

# 上映作品紹介



『アントキノイノチ』（2011年）  
監督：瀬々敬久 脚本：田中幸子、瀬々敬久  
主演：岡田将生、榮倉奈々  
配給：松竹 上映時間：131分

ストーリー：

高校時代に友人を“殺した”ことをきっかけで、心を閉ざしてしまった永島杏平。3年後、父の紹介で遺品整理業の現場で働き始めた杏平は、久保田ゆきと出逢う。命が失われた場所で共に過ごす中で、次第に心を通わせていく2人。そんなある日、ゆきは衝撃的な過去を杏平に告げる。そして、杏平の前から姿を消してしまう。

★イントロダクション：

映画の中の遺品整理という仕事は日本で今話題になっている。高齢化社会が進んで、一人で家に死んで発見されない「孤独死」の例が増えてきたからだ。「老前整理」「死前整理」「遺品整理」など、死を意識した課題に対する関心度が高まってきた。この映画はそういう社会現象を表す以外に、日本人が災難に遭った後、いつも自己整理を行う習慣も含んでいるかもしれない。

映画の中の主人公たちはそれぞれの部屋に入って、遺品を整理し、慈悲の気持ちで、死者の写真や物を片付け、最後にカードで死者の名前、死因などのことを記録する。これは簡単なお墓のようなものである。

こういうような簡単な墓で命の消え去ることを記録する。そして、もっと重要な目的であるのは、こうしたことを通して、死に直面する勇気を重ね、生きている人に対してもっと勇敢に生きるように励ましているのではないかと思う。



『忍たま乱太郎』（2011年）  
監督：三池崇史  
脚本：浦沢義雄  
主演：加藤清史郎、林遼威、木村風太  
配給：ワーナー・ブラザーズ映画

ストーリー：

時は戦国時代。主人公は忍者のたまご、乱太郎。先祖代々、ヒラ忍者の家系に生まれた乱太郎は、エリート忍者をめざして忍者の学校<忍術学園>に入学。ここでは、生徒たちは忍者のたまご、略して「忍たま」と呼ばれる。クラス分けされたのは、みんな、元気で明るい「一年は組」。個性豊かな仲間たちといっしょに、毎日、忍術の勉強に励むのだが、なぜか追試や補習ばかり。まだまだ一人前にはなれないけれど、「忍びとはガッツじゃ！」という学園長先生の教えを守って、忍たまたちは一所懸命、力を合わせてがんばっているのだ！

★イントロダクション：

この映画は本当面白くて可愛い。子供向けの映画としてはいいと思う。そして服装も化粧も完璧で、SFも上手くできているのは実にいいと思う。漫画の人物とは良く似ているし、音楽も相変わらず素晴らしいし、子供時代に戻ったような感じがある。

子供の時、本当にこのアニメが好きだった。たくさんの冒険もあるが、愛と勇気にあふれていて、この実写版はなんとと言うか懐かしい感じがある。

ある観客がこう言った：「弟と一緒に見た。最初は幼稚であり馬鹿馬鹿しい子供向け映画だと思ったが、実にいいと思う。見ることに対しては後悔しなくて、暇つぶしとしてはいいなあ。」

この映画の鑑賞率は結構高くて、評判もいい。

## 上映作品紹介



『キツキと雨』（2011年）

監督：沖田修一 脚本：沖田修一、守屋文雄

出演：役所広司、小栗旬、高良健吾

配給：角川映画 上映時間：129分

ストーリー：

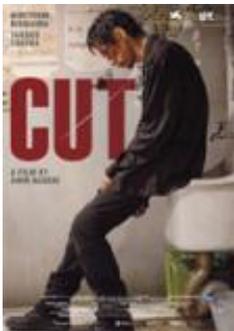
人里離れた山村に住む克彦は、森林で木々を伐採する、いわゆる木こり。妻に先立たれ、定職に就かない息子と二人暮らしをしていた。ある日、仕事の途中、映画の撮影で山に来た青年、幸一と出会う。車が溝に嵌って身動きが取れない幸一らを撮影現場まで送ると、ゾンビのメイクをされエキストラ出演するハメに。嫌がりながらも内心はまんざらでもない克彦は、やがて幸一の姿に息子と自身を重ねるようになり...

★イントロダクション：

穏やかな叙述、ちょっと変わったユーモア、離れた感情、少しだけの悲しさ、意外である驚喜、その上に役所広司の演技を加えて、素晴らしい映画になった。

中の人物はみんな可愛いところがある、ちょっと天然ボケのおっさんもいるし、自信を持たずに気弱な若き映画監督も、ちょっと厚かましいプロデューサー、真面目な普通の村民も、そして毎回「始めていい！」を叫んだカメラマンも可愛いと思う。

この映画は北京で上映したとき、観客席からずっと笑い声が聞こえた。「父の日にこういう映画を観るのは本当ふさわしい」という観客がいた。「来年の映画祭で、また沖田の映画に期待している」という観客もいた。他には「笑顔と涙が共にいる映画」とか「ひとつの事に対して心を込めてやるのはいいなあ」等の意見が聞かれた。



『CUT』（2011年）

監督：アミール・ナデリ 脚本：アミール・ナデリ、アボウ・ファルマン

青山真治、田澤裕一 原作：夏川草介

主演：西島秀俊、常盤貴子、菅田俊

海外配給：The Match Factory 上映時間：132分

ストーリー：

昔の名画の自主上映会を開催している映画監督の秀二は、現在の映画界の状況を嘆き、日々、映画のために街頭演説を行っていた。ある日、兄・真吾が死んだ。秀二は映画製作のために、ヤクザだった真吾を通して借金をしており、その借金のせいで真吾は命を落としたのだ。2週間で1254万円の返済を求められた秀二は、ヤクザたちの“殴られ屋”になる事で、借金を返済しようとする。兄の死んだ事務所のトイレで、秀二は毎日殴られ続ける...

★イントロダクション：

イラン出身のアミール・ナデリ監督は20年前も映画をテーマとして映画を作りたいと言った。この映画は今回の日本映画週間で上映した作品『CUT』である。

この作品を観に来る人々にテーマ外れの感じがある一方、違うものがまたどこかに観客たちと繋がっているような気がする。あるファンが有名なアーティスト奈良美智さんにこんな言葉に言われた「悲しい時に先生のお名前を呼びます今はアミール・ナデリ監督は映画に対しての情熱と愛は心から叫んでいる。そして、この叫び声は皆と繋がっている。例え、人間の肉体に百回のパンチに打たされた結果は...ただ、最後まで頑張れよって言いたいだけである。

この映画は文化映画の孤独に対しての叫びって言われている観客もいる。簡単にいえば、これはいかれた文化映画であり、良いか悪いかどちらでも言えませんが、とっても印象深い映画は間違いないって言われている観客もいる。そして、映画の主人公は昼間はパンチをうけて、夜は映画を観ながら治療するってこういう新奇、ロマンチックな内容設定は現実と全くはずれていることに対して好きな観客もいる。

## 上映作品紹介



『奇跡』（2011年）

監督：是枝裕和 脚本：是枝裕和

出演：前田航基、前田旺志郎

配給：ギャガ株式会社 上映時間：128分

ストーリー：

九州新幹線全線開業の朝、博多から南下する“つばめ”と、鹿児島から北上する“さくら”、二つの新幹線の一番列車がすれ違う瞬間に奇跡が起きて、願いが叶う。そんな噂を耳にした小学6年生の航一は、離れて暮らす4年生の弟の龍之介と共に奇跡を起こし、家族4人の絆を取り戻したいと願う。二人の両親は離婚し、兄は母と祖父母と鹿児島で、弟は父と福岡で暮らしているのだ。兄弟は、友達や両親、周りの大人たちを巻き込んだ壮大で無謀な計画を立て始める。そしてその計画は、人々に思いもよらない奇跡を起こしていくのだった。

★イントロダクション：

『奇跡』という映画はもともと博多から鹿児島中央へつながる九州新幹線の全線開通の記念として、鉄道会社が是枝裕和に依頼し、撮影した記念映画である。このような経緯でテーマはもうすでに定められていたので、難しい撮影のはずだが、是枝裕和はこの任務を成功させた。

彼は沿線の風景を撮影し、九州の風土人情を表すという形を放棄して、子供が奇跡を求める物語を語った。「新幹線は奇跡の象徴になった。これよりいい記念はどこにある。」

同様に大震災があったが、日本の監督の視点は中国の監督とは違うという意見がある。「日本の大震災は日本人がもともと持つ地震への恐怖を現実化して、人生無常をはっきり表したが、この映画の終わりで、主人公である航一は気持ちに整理をつけた。そして監督はモンタージュの手法を使って、みんなの願いをつながっている。人生にはこういうような美しいものは懐かしむべきだ、確かに人生は無常だが、生活は前に進むしかない。私たちはまだ追うべき夢がある。気にかけている人はまだいる。災難の後、悲しいのは避けられないだが、元気を出して、もう一度前に進むのは一番重要である。」と訴えかけている。



『琉神マブヤー THE MOVIE 七つのマブイ』（2012年）

監督：佐野智樹 脚本：福原充則

主演：山田親太朗、ISSA

配給：読賣テレビ放送株式会社 上映時間：96分

ストーリー：

沖縄には七つのマブイ（魂）、勉、勇、食、健、忍、夢、情という、人間にとって必要不可欠なものが、それを失くすと病気になったり、怠けたりと悪い人間に落ちてしまうという神話があります。

物語は、平和な沖縄を我が物とし、やがては日本列島をも征服しようと目論む悪の軍団（マジムン）が、この七つのマブイをウチナンチュ（沖縄県人）から奪い取ろうとします。

臆病なウルマ（琉神マブヤー）は兄貴分のサイオン（龍神ガナシー）と、マジムンに戦いを挑みますが、マジムンの本当の目的は、自然破壊を行う人間社会への反撃でもあり、それを知ったマブヤーは悩むのです。敵を許すヒーロー、平和を願うマブヤーはどう決着をつけるのでしょうか。

★イントロダクション：

日本の仮面ヒーロー文化、ウルトラマンによく似ている。正義や悪を倒して世界を救う物語である。見て感じたのは面白くて、子供の時を思い起こさせる。『琉神マブヤー』はこういうタイプの映画で、ヒーローと悪人が戦っている間にも、子供たちに自然を守るということを教えた。観客たちは「舞台挨拶は面白い。」「人物はかっこいい、正義が悪を倒すには子供向けだと思う。」というようなコメントをしている。

# 上映作品紹介



『東京公園』（2011年）  
監督：青山真治 脚本：青山真治、内田雅章、合田典彦 原作：小路幸也  
出演：三浦春馬、榮倉奈々、小西真奈美、井川遥  
配給：ショウゲート 上映時間：119分

## ストーリー：

東京の公園で、家族写真を撮り続ける大学生の光司は、幼い頃に亡くした母の影響でカメラマンを目指していた。ある日ひとりの男性から「彼女を尾行して、写真を撮って欲しい」と頼まれる。光司は理由もわからないままに依頼を受けるが、このことをきっかけに自分自身と、そしてそばにいる女性たちと向き合うことになる。一緒にいることが自然だった、幼馴染みの富永。やさしく力強く支えてくれる、親の再婚で義理の姉となった美咲。そして、記憶の中の誰かに似ているファインダー越しの女性。光司の視線が3人の女性をまっすぐ見つめる時、彼自身もまた変わりはじめていく...

## ★イントロダクション：

『東京公園』は撮影を手掛かりとしてつむがれた映画である。そのテーマは「死に別れと生存者」。映画の中では様々な、程度が違う複雑な人間関係と、それぞれの間の愛を表現しており、それによってこの映画のテーマはもっと重くなった。

映画の中には激しい感情や複雑なプリットはないが、ゆるいリズムを通して、日常生活の感じが出ています。ごく普通の日常のような映画だけど、なかにはまた幾つか深い考えがある。ファンたちからこのようなコメントがある。「雰囲気明るくて、生活の象徴である東京公園は初秋の時、本当に爽やかで美しい。」「日本映画の典型的な作品である。ちょっと爽やかな感じもあり、意外なところもあって、気に入ります。」「青山監督は人物の心を描くのが本当に上手、社会への考えも深刻でいいなあ。」



『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら』（2011年）  
監督：田中誠 脚本：岩崎夏海 田中誠 原作：岩崎夏海  
主演：前田敦子、瀬戸康史、峯岸みなみ、池松壮亮、川口春奈  
配給：TBSテレビ 上映時間：125分

## ストーリー：

病気で入院している親友の夕紀の代わりに、程久保高校野球部のマネージャーになった川島みなみ。しかし、程高野球部は万年一回戦敗退の弱小チーム。なんとか立派なマネージャーになり、野球部を甲子園に連れて行きたいと思ったみなみは、書店で世界中のマネージャーが読んでいるというP.F.ドラッカーの「マネジメント」を勧められる。その本の中の一節に感動したみなみは、ドラッカーの理論に基づき、野球部のマネジメントを始める。

## ★イントロダクション：

この映画のヒロインは日本の人気アイドルグループAKB48のメンバーである前田敦子だ、これは彼女の初めて主役した映画である。上映する前に、中国の多くの観客はそれを期待した。

ストーリーはちょっと薄かったり、病人に関わる部分は多過ぎたり、管理学の作用はそれほど体験できなかったりと様々不足なところがあるが、全体から見て、いい作品だと言えると思う。前田敦子の熱演も良かった。

観客からの意見では、本屋の店員が出るシーンが大きな笑い所で面白いとか、主演以外の人々も笑いを取るという点で良い評価が出ている。

# 上映作品紹介



『ステキな金縛り』（2011年）

監督・脚本：三谷幸喜

出演：深津絵里、西田敏行、阿部寛、竹内結子、浅野忠信、草なぎ剛、中井貴一

製作年：2011年

配給：株式会社ポニーキャニオン 上映時間：142分

ストーリー：

失敗ツツキでもう後がない三流弁護士エミに、ある被告人の弁護が持ち込まれる。資産家の妻殺しの容疑で捕まった男。だが彼にはアリバイがあった。なんと事件があった夜、彼は旅館の一室で金縛りに遭っていたというのだ。無実を証明できるのは、一晩中、彼にのし掛かっていた、落ち武者の幽霊だけ。エミは早速その旅館を訪れた。その夜、エミも金縛りに遭う。目を開けると、なんと！自分の上に落ち武者の姿がー！その名は、更科六兵衛。エミは思わず彼の手を掴むと、こう叫んだ。「どうか、裁判で証言して下さい！」前代未聞、幽霊が証言台に立つ！

★イントロダクション：

『素敵な金縛り』は事件を最初から観客に明示した。これは三谷幸喜のスタイルだと思う。しかし、これまでの作品とは、一味違った。無実の人のために、金縛りの亡霊を法廷に出て、証言するのは、ある意味でのタイムスリップであり、タイムスリップを扱う映画は珍しくない。三谷幸喜が別の人と違っているのは、そのタイムスリップに対して、たくさんの困難を与えたことだ。まず、亡霊は万能ではない、屋間に出るのは不可能で、誰でも見られるわけではない。それなのに、ちょうど彼の姿が見えるのは相手の弁護士であり、彼は自分の勝利のために科学を武器にして、信じない態度をとるのだ。また、日本文化では亡霊があったら、それを退治する陰陽師も必ず登場する。この作品の陰陽師は亡霊とあの世で戦っており、同じように主人公は相手の弁護士とこの世で戦っているのである。

その戦いの間にはいくつか面白いところもあり、こうして映画がもっと豊かになっている。中国のタイムスリップに関する劇を見ると、混乱しやすく、歴史は一体どうだろうという疑問がよく出る。だが、この作品では、まるで現代の人たちが一緒にこの何百年前の武士の身分調査をしたような感じである。事件が解決したとき、亡霊も自分の被っていた無実の罪をはらした。制限の中から可能性を表すのは本当にすばらしい。

ある観客から、このような感想がある、「中国の脚本家たちは見たほうがいい。タイムスリップの設定は本当にいい。」「コメディというより癒し系の映画としてみるほうが、この映画にもっとふさわしい。」この映画の死に対する設定を気に入る観客もいる。「見て感じたのはその暖かさ、苦しくて我慢できないほどの別れではないし、これから二度と会えない絶望でもない、ただのちょっとだけのつながり、この世とあの世をうまく接着した。」だから、映画の中で、阿部寛が演じた人物は突然死んだ時は、びっくりしたが、生きていた頃のように、阿部寛はあの世に座っていて、もう二度とラーメンを食べられないと言いながら、残念な表情を出した。こういうようなところは死の恐怖を少し軽くして、ユーモアの方法で表現している。

## 【第15回上海国際映画祭】 日本映画特集部門作品



『麒麟の翼 ~劇場版・新参者~』（2011年）  
監督：土井裕泰 脚本：櫻井武晴 原作：東野圭吾  
出演：阿部寛、新垣結衣、溝端淳平/中井貴一  
配給：TBSテレビ 上映時間：129分

ストーリー：

日本橋にある翼を持った麒麟像の下で、青柳武明という男性が息絶えた。彼はナイフで刺された状態で8分間も歩き、わざわざその像の下までやって来て倒れたのだ。日本橋署の刑事・加賀恭一郎は、青柳のそんな行動に疑問を持つ。容疑者の八島冬樹は、青柳の鞆を持って逃走している最中に車に轢かれて意識不明になっていた。加賀は警視庁捜査一課の刑事で従兄の松宮とタッグを組み、八島の恋人・香織や青柳の家族たちに話を聞いて回る。

★イントロダクション：

日本の映画が持つ三つの実力はどの国にも類を見ないものである。一つはささやかな所から表れた暖かさ、もう一つは生死の間に現れた悟りと癒し。最後のひとつはバスの時刻表みたい正確で緻密なミステリーである。『新参者』のシリーズはミステリーと癒しを兼ね持っている。テレビドラマから始まり、SPも人気あるので、観客から劇場版に対する期待も大きい。『麒麟の翼劇場版』の中国での封切上映、上海影城のスクリーン1は満員になった。今回の出演者は皆有名で、原作もまた有名な東野だということもあり、最初から多くの人の関心を受けた。

劇場版の設定はドラマと似ているので、観客に受け入れやすい。細かいけれど暖かい感情の表現もこの映画をもっと豊かにする。見たあと、観客たちはみな良い評価をくれた。「懐かしいメロディを聞いて、本当にいいなあ！」「中井さんの出番は多くないけど、演技はいい、見れば絶対後悔しない！」「ヒロインは本当に美しい、演技も上手で、表情はいい。」「父の愛は本当に偉大なもの、感動した！」などのコメントも出てきた。



『女優』（2012年）  
監督・脚本・原作：寺西一浩  
出演：中野良子、林丹丹、岩佐真悠子、杉村太蔵、小澤マリア、桂由美  
配給：株式会社D E C C I 上映時間：96分

ストーリー：

上海の小さな街。幼い頃に母と離ればなれになり、片親で育ててくれた父も他界、親戚の営む上海の小さなクリーニング店で働きながら、いつか女優になることを夢見て、演劇学校で芝居の勉強を続ける小麗。ある日、そんな小麗に、日中合作映画『女優』のオーディション合格通知が届く。親しい人々や住み慣れた街を出て、女優になる為に日本へと渡った小麗。慣れないことばかりで上手く振る舞えない毎日の中で、共演者の大女優、夏樹奈々が所属するプロダクションの敏腕社長、加賀明子に出会う。あか抜けない外見と、無邪気な表情で笑う少女。しかし、本気で大女優になりたいと願う小麗に、特別な思いを感じた加賀は『あなたには人生を変えるチャンスがある』そう告げて、大女優、夏樹奈々を継ぐ後継者としてプロダクションにスカウトし、トップ女優へと押し上げるため全力でマネジメントをする...

★イントロダクション：

ストーリーは感動的などころがあり、役者たちは演技派で本当にうまい。全体から見て人物とストーリーはしっくりくる。

都市の忙しさは人々の関係を緊張したものにした。この映画の中の人々は皆人に言えない秘密がある、しかし、秘密がばれたとき、その人たちそれぞれのまるで本物のような表情が出ていて、いい映画だと思う。

## 「2012北京・日本映画週間」 上映作品



『ALWAYS 三丁目の夕日'64』



『東京公園』



『琉神マブヤー THE MOVIE  
七つのマブイ』



『奇跡』



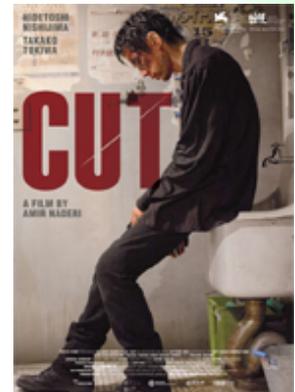
『キツキと雨』



『ステキな金縛り』



『神様のカルテ』



『CUT』



『アントキノイノチ』



『岳』



『忍たま乱太郎』



『もし高校野球の女子  
マネージャーがドラッカーの  
「マネジメント」を読んだら』

## 「2012北京・日本映画週間」開幕式①

■日時：6月14日（木）14:30～18:00

■会場：万達国際影城(CBD) スクリーン9

■動員数：310人

<VIPゲスト>

### ■日本

在中国日本大使館・特命全権公使 堀之内秀久様

国際交流基金・理事 櫻井友行様

在中国日本国大使館・公使 山田重夫様

国際交流基金北京日本文化センター・所長 杉田松太郎様

日中文化交流協会副会長・日中友好映画祭実行委員会芸術顧問 栗原小巻様

日中友好映画祭実行委員会理事長：耿忠

日中友好映画祭実行委員会副理事長：渡辺満子

日中友好映画祭実行委員会理事：伊藤政彦

日中友好映画祭実行委員会理事：李纓

### ■中国

中国国家広播電影電視総局電影管理局局長 童剛様

北京電影学院院長 張会軍様

中国電影資料館館長 付紅星様

中国著名監督 霍建起様、楊亜洲様、江平様、蔣欽民様

中国女優 李柯竺様

全人代元常務委員・周恩来首相の元秘書 林麗韞様

中国人民外交学会・副会長 黄星原様



万達国際影城

<日本映画週間ゲスト>

映画『東京公園』監督 青山真治様 プロデューサー 齊藤寛朗様

映画『琉神マブヤー-THE MOVIE』監督 佐野智樹様 / 俳優 山田親太朗様 プロデューサー 木村尚美様

映画『ALWAYS三丁目の夕日'64』俳優 須賀健太様 / プロデューサー 奥田誠治様、阿部秀司様、佐藤直子様

日中国交正常化40周年、2012「日中国民交流友好年」認定事業として、「2012北京・日本映画週間」開幕式が、6月14日午後、万達国際影城で盛大に行われました。中国国家広播電影電視総局電影管理局局長・童剛様、在中国日本国大使館特命全権公使・堀之内秀久様、日本著名女優（日中文化交流協会副会長、日中友好映画祭実行委員会芸術顧問）栗原小巻様が出席し、ご挨拶を行いました。

童剛局長はご挨拶で、『映画は様々な芸術を総合的に表現する芸術形態で、日中両国の映画交流は両国国民の相互理解と友情を深めるに大きな意味を持っております。今回上映される12本の日本映画は、題材が豊富でジャンルも多様、中国の人々はきっとこれらの作品を通して、日本の歴史文化、風習、生活及び経済社会の発展を理解し、両国国民の相互理解と友情を深めることと確信しております。』と述べました。

堀之内公使は『日中国交正常化40周年の今年、日中両政府は2012「日中国民交流友好年」新たな出会い、心の絆を題して、両国民の交流の機会をできる限り多く設け、相互理解を深め、協力関係を更に深めることを目指しております。今年の映画週間では日本の新作12本が中国ではじめて上映されます。ぜひ、一人でも多くの中国の方にご覧いただき、これらの映画祭を通じて、今の日本、日本人、そして日本社会を体験していただき、理解を深めていただきたいと思います。』とご挨拶なさいました。

栗原小巻様もご挨拶の中で、『映画祭の理念は映画を通じて、相互理解を深め、真の友人として信頼を構築することにあります。映画交流を通じて、私は中国の皆様から沢山の愛をいただきました。』と心からの思いを伝えました。また栗原様は映画交流の目的は異なる言葉、異なる文化を有する日中両国が相互理解を深め、不動の信頼関係を構築することにあると述べました。その後、日本でも大ヒットしたオープニング上映作品「ALWAYS三丁目の夕日'64」及び日本映画週間代表団の皆様をご紹介いただきました。

最後に、童剛局長は中国女優・李柯竺様に「日中映画推進大使」を授賞し、開幕式が終わった後、ゲストの皆様は来場の皆様とともにオープニング作品をご覧になりました。

## 「2012北京・日本映画週間」開幕式②



童剛局長のご挨拶



特命全権公使  
堀之内秀久様のご挨拶



栗原小巻様のご挨拶



ぎっしりと埋まった会場内



林麗韞様



女優李柯竺様“中日映画推广大使”を受賞



日本映画週間ゲスト



青山真治監督



佐野智樹監督



俳優・山田親太郎様



俳優・須賀健太様



プロデューサー・阿部秀司様



プロデューサー・奥田誠治様

# 「2012北京・日本映画週間」レセプションパーティー①

- 日時：6月14日（木）19:00～21:00
- 会場：北京万達索菲特大酒店7F 大宴会厅
- 動員数：420人

## ＜VIPゲスト・日本＞

在中国日本大使館・特命全権公使 堀之内秀久様  
 国際交流基金・理事 櫻井友行様  
 在中国日本国大使館・公使 山田重夫様  
 国際交流基金北京日本文化センター・所長 杉田松太郎様  
 日中文化交流協会副会長・日中友好映画祭実行委員会芸術顧問 栗原小巻様  
 日中友好映画祭実行委員会理事長：耿忠  
 日中友好映画祭実行委員会副理事長：渡辺満子  
 日中友好映画祭実行委員会理事：伊藤政彦  
 日中友好映画祭実行委員会理事：李纓

## ＜VIPゲスト・中国＞

中国国家広播電影電視総局電影管理局局長 童剛様  
 全人代元常務委員・周恩来首相の元秘書 林麗韞様  
 中国電影集团公司副總經理、監督 江平様  
 中国著名監督 霍建起様、張楊様  
 中国俳優 肖文革様、呉秀波様、張曉龍様、王茜様、周小斌様、苗苗様、蘇麗様  
 李木子様、劉之冰様、庄慶寧様、胡夢昕様、張曦文様、朱砂様  
 魏一様、王嘉様、張驍様、方曉莉様、郭雪様、呂星辰様

## ＜日本映画週間ゲスト＞

映画『東京公園』監督 青山真治様 プロデューサー 齊藤寛朗様 / 映画『CUT』主演 常盤貴子様  
 映画『琉神マブヤーTHE MOVIE』監督 佐野智樹様 / 俳優 山田親太郎様 / プロデューサー 木村尚美様  
 映画『ALWAYS三丁目の夕日'64』俳優 須賀健太様 / プロデューサー 奥田誠治様、阿部秀司様、佐藤直子様



北京万達索菲特大酒店  
7F大宴会厅

14日夜7時から北京万達索菲特大酒店にて開催されたレセプションパーティーには、日中映画人が会場を埋め尽くしました。会場入口では映画『琉神マブヤーTHE MOVIE』のキャラクターたちがご来場の皆様と握手しながらお迎え致しました。GYPSY QUEENの軽快な演奏の中、レセプションパーティーは幕を開け、中国国家広播電影電視総局電影管理局局長・童剛様、国際交流基金理事・櫻井友行様が出席しご挨拶を行いました。また、日本著名女優・栗原小巻様も日中映画週間ゲストを率い、登壇なさいました。



レセプション受付  
当日は日中ゲスト計400人がご来場



琉神マブヤーのキャラクターたちはレセプション会場の入り口で皆様を歓迎、そして記念撮影



栗原小巻様、山田重夫公使、耿忠理事長もマブヤーと記念撮影



司会担当の  
王小燕様と温桂鈺様



バンドGYPSY QUEENも日中映画の  
テーマソングを熱唱し、会場を盛り上げました

# 「2012北京・日本映画週間」レセプションパーティー②



童剛局長のご挨拶



栗原小巻様のご挨拶



林麗韞様をはじめ、日中のゲストのご紹介



日本映画週間ゲスト



中国著名俳優・呉秀波様が中国側ゲストを代表してご挨拶



櫻井友行理事による乾杯音頭



青山真治監督



女優 常盤貴子様



佐野智樹監督



俳優・山田親太郎様



俳優・須賀健太様

## 「2012北京・日本映画週間」レセプションパーティー③



日中政府及び各友好団体の代表の皆様もレセプションパーティーに出席しました。また、中国の俳優・女優、監督など40名以上のご来場も会場を華やかに飾りました



会場は大いに盛り上がり、  
沢山のメディアを惹きつけました



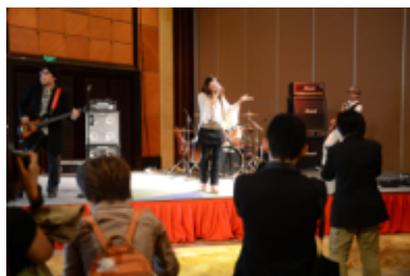
中国著名俳優・呉秀波様が  
中国側ゲストを代表してご挨拶



日中ゲストが登壇し、日本映画週間の開催をお祝い



会場の様子



GYPSY QUEENのショータイム



日中女優の友好交流

## 「2012北京/上海・日本映画週間」作品 『東京公園』舞台挨拶 @北京

- 日時：6月14日（木） 21:45～22:00
- 会場：当代MOMA百老匯電影中心
- 動員数：190人

### ■登壇者

監督 青山真治様  
プロデューサー 齋藤寛朗様

### ■作品情報

『東京公園』(2011年)

監督：青山真治

脚本：青山真治、内田雅章、合田典彦

原作：小路幸也

出演：三浦春馬、榮倉奈々、小西真奈美、井川遥

配給：ショウゲート

上映時間：119分



当代MOMA百老匯電影中心

### ■あらすじ

東京の公園で、家族写真を撮り続ける大学生の光司は、幼い頃に亡くした母の影響でカメラマンを目指していた。ある日ひとりの男性から「彼女を尾行して、写真を撮って欲しい」と頼まれる。光司は理由もわからないままに依頼を受けるが、このことをきっかけに自分自身と、そしてそばにいる女性たちと向き合うことになる。一緒にいることが自然だった、幼馴染みの富永。やさしく力強く支えてくれる、親の再婚で義理の姉となった美咲。そして、記憶の中の誰かに似ているファインダー越しの女性。光司の視線が3人の女性をまっすぐ見つめる時、彼自身もまた変わり始めていく...



トークショーの様子



観客席の様子



青山監督と齋藤プロデューサー

★中国最大手ポータルサイトSOHUとコラボして行った『東京公園』舞台挨拶は、「SOHU視頻人文映画展」の公式イベントとして進行されました。本作品のテーマや青山監督の今までの作品との違い、主演俳優の演技、ロケーションなど作品をめぐる、奥深いトークショーが展開されました。

## 「2012北京/上海・日本映画週間」作品 『琉神マブヤー THE MOVIE』 舞台挨拶 @北京

- 日時：6月14日（木） 20:30～20:45
- 会場：北京百麗宮影院(国貿)
- 動員数：136人

### ■登壇者

監督 佐野智樹様  
俳優 山田親太朗様  
キャラクター 琉神マブヤー、龍神ガナシー

### ■作品情報

『琉神マブヤー THE MOVIE』(2012年)  
監督：佐野智樹  
脚本：福原充則  
主演：山田親太朗、ISSA  
配給：讀賣テレビ放送株式会社  
上映時間：96分



北京百麗宮影院(国貿)

### ■あらすじ

沖縄には七つのマブイ（魂）、勉、勇、食、健、忍、夢、情という、人間にとって必要不可欠なものがあり、それを失くすと病気になったり、怠けたりと悪い人間に落ちてしまうという神話があります。物語は、平和な沖縄を我が物とし、やがては日本列島をも征服しようと目論む悪の軍団（マジムン）が、この七つのマブイをウチナンチュ（沖縄県人）から奪い取ろうとします。臆病なウルマ（琉神マブヤー）は兄貴分のサイオン（龍神ガナシー）と、マジムンに戦いを挑みますが、マジムンの本当の目的は、自然破壊を行う人間社会への反撃でもあり、それを知ったマブヤーは悩むのです。敵を許すヒーロー、平和を願うマブヤーはどう決着をつけるのでしょうか。



佐野監督と主演の山田様



佐野監督、山田様、キャラクターの皆様



会場様子

★佐野監督と主演の山田様、そして本編のキャラクターを迎えて行われた舞台挨拶は、トークショー形式で作品を巡る質問や来客のリクエストに応えるなど、アクティブに展開されました。また山田様から北京の皆さんに沖縄の方言や沖縄人の大切な魂(マブイ)を伝授するなど、楽しい交流のひと時になりました。

## 「2012上海・日本映画週間」 上映作品



『ALWAYS 三丁目の夕日'64』



『東京公園』



『琉神マブヤー THE MOVIE  
七つのマブイ』



『奇跡』



『キツキと雨』



『ステキな金縛り』



『神様のカルテ』



『CUT』



『アントキノイノチ』



『岳』



『忍たま乱太郎』



『もし高校野球の女子  
マネージャーがドラッカーの  
「マネジメント」を読んだら』

## 【第15回上海国際映画祭】 日本映画特集部門作品



『麒麟の翼 ~劇場版・新参者~』



『女優』

## 「2012上海・日本映画週間」 開幕式①

- 日時：6月17日（日）14:00～
- 会場：上海影城 スクリーン1
- 動員数：1058人
- <VIPゲスト>

### ■日本

国際交流基金・理事長 安藤裕康様  
上海総領事館・総領事 泉裕泰様  
東京国際映画祭・チェアマン 依田巽様  
上海日本商工クラブ・理事長 奥山和則様  
日本貿易振興機構生活文化産業部部長 浜野京様  
上海総領事館・領事 佐治智様、和久様  
日中友好映画祭実行委員会理事長：耿忠  
日中友好映画祭実行委員会副理事長：渡辺満子  
日中友好映画祭実行委員会理事：吉村明郎  
日中友好映画祭実行委員会理事：伊藤政彦  
日中友好映画祭実行委員会理事：福田秀人  
日中友好映画祭実行委員会理事：範雲濤  
日中友好映画祭実行委員会理事：李纓

### ■中国

上海国際映画祭組織委員会実行副チェアマン、上海電影(集団)有限公司 任仲倫様  
上海文联党組書記 宋妍様  
上海文联秘書長 沈文忠様  
上海同済大学電影学院院長 鐘勤  
<日本映画週間ゲスト> ＊敬称略

映画『麒麟の翼』監督 土井裕泰 / 映画『東京公園』監督 青山真治 プロデューサー 斉藤寛朗

映画『琉神マブヤーTHE MOVIE』監督 佐野智樹 プロデューサー 木村尚美

映画『ALWAYS三丁目の夕日'64』俳優 須賀健太 / プロデューサー 奥田誠治、阿部秀司、佐藤直子

映画『女優』監督 寺西一浩 / 女優 岩佐真悠子

DAPUMP ダンサー ダイチ / ミス日本・東京タワー大使 吉松育美

6月17日、第15回上海国際映画祭～日本映画週間の開幕式が上海影城にて開催され、日中両国の映画関係者の賞賛をえました。上海国際映画祭チェアマン、上海電影(集団)有限公司総裁・任仲倫様が歓迎の言葉を述べました。また、国際交流基金理事長・安藤裕康様も開幕式にご出席し、ご挨拶なさいました。安藤理事長は、『今回のような日本映画週間を通じて、中国でも日本映画のファンが益々増えて、そして日本と中国の友好と交流が益々深まることを祈願致します。』とお話ししました。東京国際映画祭チェアマン・依田巽様、『麒麟の翼』監督・土井裕泰様、『東京公園』監督・青山真治様、『琉神マブヤー THE MOVIE』監督・佐野智樹様、『女優』監督・寺西一浩様並びに主演女優・岩佐真悠子様、オープニング映画『ALWAYS三丁目の夕日'64』プロデューサー・阿部秀司様&奥田誠治様並びに主演俳優・須賀健太様なども開幕式にご出席いたしました。登壇した日本映画週間ゲストたちは、濃厚な映画雰囲気と映画人の情熱に感心され、みんな中国語で来場の皆様とご挨拶し、上海国際映画祭に対する賞賛や中国映画に持っている深い興味、中国題材作品への参加希望などを伝えてくださいました。『東京公園』の青山監督は、『中国は今回が初めてですが、チャン・イーモウ監督やチェン・カイコー監督などから大きな影響を受けた日本の監督の一人です。今回は「東京公園」という東京を舞台にした映画でここに来ることができました。この次は北京或は上海を舞台にした映画を作って、またここにやってきたいと思います』と中国での映画製作願望を話してくださいました。『麒麟の翼』の土井監督と『女優』の寺西監督は中国との縁が強く、幼い頃から中国映画を観賞された土井監督は7年前、内モンゴルで時代劇を撮ったことがあると話し、撮影環境はとても厳しかったものの、全てのできことが大きな励みになったと述べました。寺西監督は6ヶ月間、中国に滞在しながら映画を撮り、中国の人々から沢山の力をいただいたと話し、最後には中国語で「中国が大好きです、日中両国の友情が永遠に続きますように！」と述べました。



上海影城



開幕式当日、開始時間2時間前から沢山の観客が会場を訪れ、入場時間を待ちました。



入り口にて映画祭の記念品を配布

## 「2012上海・日本映画週間」 開幕式②



上海影城スクリーン1  
1000人キャパに空席なし



司会担当の呉四海様とかおり様



会場の盛況ぶり



日本人子どもたちの軽やかなダンスで開幕式は幕開け



日中ゲストたち



任仲倫総裁のご挨拶



安藤裕康理事長のご挨拶



日本映画週間代表団のゲストたちは中国の皆様にも日本映画週間に参加できた感想や中国に対する好印象を伝えた後、日中VIPゲストと記念撮影



土井裕泰監督



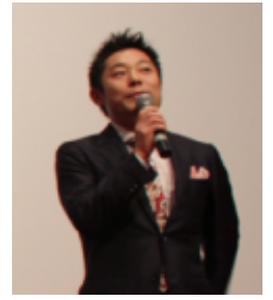
青山真治監督



佐野智樹監督



女優・岩佐真悠子様



寺西一浩監督



俳優・須賀健太様



オープニング映画『ALWAYS三丁目の夕日'64』プロデューサー・奥田誠治様と阿部秀司様が観客の皆様にも撮影中のエピソードをご紹介します



2012年ミス日本  
東京タワー大使・吉松育美

## 「2012上海・日本映画週間」 開幕式③



日本側ゲストが登壇してご挨拶



中国の子どもたちが日本側ゲストに花束を贈呈



花束贈呈後の子どもたち大興奮！



任総裁と泉総領事のご歓談



安藤理事長を始め、日本のゲストと一緒に真剣に日本舞踊を鑑賞



会場には80の日中メディアが殺到



日本映画週間は日中両国の人々や各界の友好関係者のご支援のもと、円満に幕を開けました。



開幕式が終わった後、日中の観客は共にオープニング映画作品『ALWAYS 三丁目の夕日'64』を観賞しました。



盛りあがる会場内



ベストショットを狙うメディアたち



開幕式会場に集まってきた観客たち

# 「2012上海・日本映画週間」レセプションパーティー①

■日時：6月17日（日）19:00～21:00

■会場：上海日航ホテル3F宴会厅

■動員数：350人

<VIPゲスト>

## ■日本

国際交流基金・理事長 安藤裕康様

上海総領事館・総領事 泉裕泰様

東京国際映画祭・チェアマン 依田巽様

上海日本商工クラブ・理事長 奥山和則様

日本貿易振興機構生活文化産業部部長 浜野京様

上海総領事館・領事 佐治智様、和久様

日中友好映画祭実行委員会理事長：耿忠

日中友好映画祭実行委員会副理事長：渡辺満子

日中友好映画祭実行委員会理事：吉村明郎

日中友好映画祭実行委員会理事：伊藤政彦

日中友好映画祭実行委員会理事：福田秀人

日中友好映画祭実行委員会理事：範雲濤

日中友好映画祭実行委員会理事：李纓

## ■中国

中国国家広播電影電視総局電影管理局・副局長 喇培康様

上海国際映画祭チェンマン、上海電影集團總裁 任仲倫様

俳優 竇驍様 女優 車永莉様

<日本映画週間ゲスト> ＊敬称略

映画『麒麟の翼』監督 土井裕泰

映画『東京公園』監督 青山真治、プロデューサー 斉藤寛朗

映画『琉神マブヤーTHE MOVIE』監督 佐野智樹、プロデューサー 木村尚美

映画『ALWAYS三丁目の夕日'64』俳優 須賀健太

プロデューサー 奥田誠治、阿部秀司、佐藤直子

映画『女優』監督 寺西一浩 / 女優 岩佐真悠子 DAPUMPダンサー ダイチ



上海日航ホテル3F宴会厅

6月17日、『2012上海・日本映画週間』レセプションパーティーが上海日航ホテルで盛大に行われました。パーティーには、日中両国のスター達が勢ぞろいで出席し、会場を華やかに飾りました。

パーティーではまず、中国国家広播電影電視総局電影管理局副局長・喇培康様が『日中両国はともに映画大国で、タイアップするとお互いに有利になります。両国の映画人が映画祭の開催をキッカケに、映画領域での交流を更に深め、両国民の相互理解も深めていくことを望んでおります。』とご挨拶しました。喇培康様に続き、上海総領事館の総領事・泉裕泰が登壇し、『日中関係を安定的に発展させる上で、両国民の相互理解は益々重要になってきます。日本映画週間の円満なる成功をお祈り致します。』と話しました。東京国際映画祭チェアマン・依田巽様も会場を訪れ、乾杯の音頭をとり、日本映画週間の成功を祈り、ご来場の皆様と乾杯！依田会長のユーモアは会場を楽しい気分に染めました。

今回のパーティーには、昨年、私達の東京・日本映画週間に参加して下さった中国人気俳優・竇驍様も忙しい中、合間を縫って足を運んでくださいました。また人気女優・車永莉様もサプライズゲストとして登場！クライマックスはDAPUMPのダイチさんが鮮やかなダンスで盛り上げました。



喇培康副局長



泉裕泰総領事



依田巽会長



依田巽会長による乾杯音頭

## 「2012上海・日本映画週間」レセプションパーティー②



上海日航ホテル3F受付



日中両国ゲスト300人以上がご来場



日中政府関係者



レセプションパーティー会場内



日中映画週間代表団の皆様と中国



会場には日中両国の媒体が殺到

俳優寶駿、女優・車永莉など登壇してご挨拶



青山真治監督



土井裕泰監督



佐野智樹監督



俳優・須賀健太様



中国俳優・寶駿



中国女優・車永莉



寺西一浩監督



女優・岩佐真悠子

## 「2012上海・日本映画週間」レセプションパーティー③



日本著名男性ヒップホップダンスボーカルユニット  
DA PUMPメンバーDAICHIもご来場、  
得意のダンスで会場を最高に盛り上げました。

レセプションパーティーにも多くの媒体が殺到！



日中両国のゲストが日本映画週間の成功を祈り、乾杯！



ご来場の皆様は楽しく交流、そして主催側が用意した上海グルメをご賞味



パーティーには300人以上が参加し、和気藹々の雰囲気の中、楽しく交流

## 「2012北京/上海・日本映画週間」作品 『CUT』 舞台挨拶 @上海

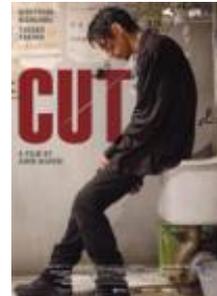
- 日時：6月16日（土）13:30～
- 会場：環芸電影城スクリーン2
- 動員数：345人

### ■登壇者

監督 アミール・ナデリ様  
女優 常盤貴子様

### ■作品情報

『CUT』(2011年)  
監督：アミール・ナデリ  
脚本：アミール・ナデリ、アボウ・ファルマン  
青山真治、田澤裕一  
原作：夏川草介  
主演：西島秀俊、常盤貴子、菅田俊  
海外配給：The Match Factory  
上映時間：132分



上海環芸影城

### ■あらすじ

昔の名画の自主上映会を開催している映画監督の秀二は、現在の映画界の状況を嘆き、日々、映画のために街頭演説を行っていた。ある日、兄・真吾が死んだ。秀二は映画製作のために、ヤクザだった真吾を通して借金をしており、その借金のせいで真吾は命を落としたのだ。2週間で1254万円の返済を求められた秀二は、ヤクザたちの“殴られ屋”になる事で、借金を返済しようとする。兄の死んだ事務所のトイレで、秀二は毎日殴られ続ける...



ナデリ監督と常盤様



ご挨拶を行っている常盤様



観客席の様子

★ナデリ監督と主演の常盤貴子様のご登壇で行われた舞台挨拶では、お互いの印象や映画を通して上海のファンに伝えたいメッセージは何かを伺いました。また、上海大好きな常盤様には上海の魅力、最近の印象などを語っていただきました。

## 「2012北京/上海・日本映画週間」作品 『東京公園』 舞台挨拶 @上海

- 日時：6月17日（日）20:45～
- 会場：環芸電影城スクリーン2
- 動員数：307人

■登壇者  
監督 青山真治様

■作品情報  
『東京公園』(2011年)  
監督：青山真治  
脚本：青山真治、内田雅章、合田典彦  
原作：小路幸也  
出演：三浦春馬、榮倉奈々、小西真奈美、井川遥  
配給：ショウゲート  
上映時間：119分



上海環芸影城

### ■あらすじ

東京の公園で、家族写真を撮り続ける大学生の光司は、幼い頃に亡くした母の影響でカメラマンを目指していた。ある日ひとりの男性から「彼女を尾行して、写真を撮って欲しい」と頼まれる。光司は理由もわからないままに依頼を受けるが、このことをきっかけに自分自身と、そしてそばにいる女性たちと向き合うことになる。一緒にいることが自然だった、幼馴染みの富永。やさしく力強く支えてくれる、親の再婚で義理の姉となった美咲。そして、記憶の中の誰かに似ているファインダー越しの女性。光司の視線が3人の女性をまっすぐ見つめる時、彼自身もまた変わり始めていく...



青山監督



舞台挨拶



司会の佐藤愛様

★中国で大人気の在上海日本人・佐藤愛様の司会で進行された舞台挨拶は、監督が小説を映画化した際の苦勞や課題を語っていただきました。また、国際的にも高い評価を得、数多くの賞を取っている本作品に、監督が込められた想いなども話していただきました。

# 「2012北京/上海・日本映画週間」作品 『琉神マブヤー THE MOVIE』 舞台挨拶 @上海

- 日時：6月16日（土）13:30～
- 会場：上海影城スクリーン2
- 動員数：254人

■登壇者  
監督 佐野智樹様

- 作品情報  
『琉神マブヤー THE MOVIE』（2012年）  
監督：佐野智樹  
脚本：福原充則  
主演：山田親太朗、ISSA  
配給：讀賣テレビ放送株式会社  
上映時間：96分



上海影城

## ■あらすじ

沖縄には七つのマブイ（魂）、勉、勇、食、健、忍、夢、情という、人間にとって必要不可欠なものがあり、それを失くすと病気になったり、怠けたりと悪い人間に落ちてしまうという神話があります。物語は、平和な沖縄を我が物とし、やがては日本列島をも征服しようと目論む悪の軍団（マジムン）が、この七つのマブイをウチナンチュ（沖縄県人）から奪い取ろうとします。臆病なウルマ（琉神マブヤー）は兄貴分のサイオン（龍神ガナシー）と、マジムンに戦いを挑みますが、マジムンの本当の目的は、自然破壊を行う人間社会への反撃でもあり、それを知ったマブヤーは悩むのです。敵を許すヒーロー、平和を願うマブヤーはどう決着をつけるのでしょうか。



司会と通訳



佐野監督



舞台挨拶



観客席の様子

★北京とは違い、佐野監督のみで迎えられた舞台挨拶では、キャラクターの強みや上海の子どもたちに見ていただきたいポイントなどを語っていただきました。また、上海に対する印象などプライベートなお話しもさせていただきました。

## 【第15回上海国際映画祭】日本映画特集部門作品 『麒麟の翼～劇場版・新参者～』 舞台挨拶

- 日時：6月16日（土）20:45～
- 会場：上海影城スクリーン1
- 動員数：1058人

■登壇者  
監督 土井裕泰様

■作品情報  
『麒麟の翼～劇場版・新参者～』（2011年）  
監督：土井裕泰  
脚本：櫻井武晴  
原作：東野圭吾  
出演：阿部寛、新垣結衣、溝端淳平/中井貴一  
配給：TBSテレビ  
上映時間：129分



上海影城

### ■あらすじ

日本橋にある翼を持った麒麟像の下で、青柳武明という男性が息絶えた。彼はナイフで刺された状態で8分間も歩き、わざわざその像の下までやって来て倒れたのだ。日本橋署の刑事・加賀恭一郎は、青柳のそんな行動に疑問を持つ。容疑者の八島冬樹は、青柳の鞆を持って逃走している最中に車に轢かれて意識不明になっていた。加賀は警視庁捜査一課の刑事で従兄の松宮とタッグを組み、八島の恋人・香織や青柳の家族たちに話を聞いて回る。



土井監督



観客席の様子



土井監督

★『麒麟の翼』舞台挨拶は、収容人数1000人の大きな会場にもかかわらず、観客席は来場のファンで埋め尽くされました。土井監督は『麒麟の翼』というタイトルから日本橋にあるモニュメントについて語り、今回の訪中で飛躍の上海を感じたと述べ、観客からの喝采を浴びました。

## 【第15回上海国際映画祭】日本映画特集部門作品 『女優』 舞台挨拶

- 日時：6月18日（水）18:30～
- 会場：世紀大上海電影院 スクリーン2
- 動員数：174人

### ■登壇者

監督 寺西一浩様  
女優 岩佐真悠子様

### ■作品情報

『女優』（2012年）  
監督・脚本・原作：寺西一浩  
出演：中野良子、林丹丹、岩佐真悠子  
杉村太蔵、小澤マリア、桂由美  
配給：株式会社DECCI  
上映時間：96分



世紀大上海電影院

### ■あらすじ

上海の小さな街。幼い頃に母と離ればなれになり、片親で育ててくれた父も他界、親戚の営む上海の小さなクリーニング店で働きながら、いつか女優になることを夢見て、演劇学校で芝居の勉強を続ける小麗(20)。ある日、そんな小麗に、日中合作映画『女優』のオーディション合格通知が届く。親しい人々や住み慣れた街を出て、女優になる為に日本へと渡った小麗。慣れないことばかりで上手く振る舞えない毎日の中で、共演者の大女優、夏樹奈々が所属するプロダクションの敏腕社長、加賀明子に出会う。あか抜けない外見と、無邪気な表情で笑う少女。しかし、本気で大女優になりたいと願う小麗に、特別な思いを感じた加賀は『あなたには人生を変えるチャンスがある。』そう告げて、大女優、夏樹奈々を継ぐ後継者としてプロダクションにスカウトし、トップ女優へと押し上げるため全力でマネジメントをする...

★日中国交正常化40周年記念作品として制作された映画『女優』は、第15回上海国際映画祭「日本映画特集部門」作品に選ばれ、寺西監督が率いる製作陣が揃って上海国際映画祭に参加。舞台挨拶にも寺西監督と主演の岩佐さんが登壇して、上海のファンと交流。

# 『第15回上海国際映画祭』 レッドカーペット

■日時：6月16日（土）18:30～20:00

■会場：上海大劇院

■動員数：300人

<VIPゲスト>

中国国家広播電影電視総局・副局長 張丕民様

国際交流基金・理事長 安藤裕康様

上海総領事館・総領事 泉裕泰様

東京国際映画祭・チェアマン 依田翼様

上海総領事館・領事 佐治智様、和久様

日中友好映画祭実行委員会理事長：耿忠

日中友好映画祭実行委員会副理事長：渡辺満子

日中友好映画祭実行委員会理事：伊藤政彦



上海大劇院

<日本映画週間ゲスト> \*敬称略

映画『麒麟の翼』監督 土井裕泰

映画『東京公園』監督 青山真治 プロデューサー 齊藤寛朗

映画『琉神マブヤー-THE MOVIE』監督 佐野智樹 プロデューサー 木村尚美

映画『ALWAYS三丁目の夕日'64』俳優 須賀健太 / プロデューサー 奥田誠治、阿部秀司、佐藤直子

映画『CUT』女優 常盤貴子

映画『女優』監督 寺西一浩 / 女優 岩佐真悠子

DAPUMP ガンナー ダイチ、ミス日本・東京タワー大使 吉松育美

<他の出演ゲスト一例> \*敬称略

ジャッキー・チェン、チョウ・ユンファ、福山雅治、チャン・ドンゴン、セシリア・チャン、堺雅人、広末涼子、内田けんじ監督、ジェリー・イエンなど

2012年6月16日、第15回上海国際映画祭が上海市で開幕。今回の上海国際映画祭には、106の国と地域から、1643本の映画が出品され、過去最高数となった。開幕式のレッドカーペットには、約50の国と地域から、人気俳優や映画関係者が登場し空前の第盛況ぶりとなった。



Amir監督、常盤貴子、依田会長



常盤貴子



耿忠、安藤理事長



奥田誠治、須賀健太、阿部秀司



土井監督



齋藤プロデューサー  
青山監督



木村プロデューサー  
佐野監督



岩佐真悠子、寺西一浩

# 取材マスコミ媒体一覧

## ■北京開幕式（計53社）

\*媒体名は順序不同・敬称略

### 【テレビ】

CCTV世界電影之旅／フジテレビ北京支局／NHK中国総局／新華通信社(映像)／TBS／日本テレビ／中国中央電視台英語チャンネル<文化報道>

### 【ラジオ局】

中国国際廣播電台・国際在線／北京人民廣播電台・外国語映画チャンネル

### 【通信社】

中国新聞社／新華網

### 【新聞】

香港大公報北京事務所／中国日報／新京報／第一財經日報／北京青年報／人民日報／環球時報／朝日新聞／国際商報／21世紀經濟導報／南方都市報／北海道新聞社／読売新聞社・中国総局／西日本新聞

### 【雑誌】

中国經濟信息／財經雜誌／CONSOLE北京／星尚画報／時代影視雜誌／海南航空機内誌・東方養生／城市漫歩・日本語版／南方人物週刊／三联生活週刊／北京青年／中国報道

### 【フリーペーパー】

佐賀フィルムコミッション／フリーランスライター／北京ジャピンオン

### 【ウェブサイト】

人民網（外文部）／好劇網／搜狐 SOHU／ASIAN BEST/『人民中国』インターネット部／中国網日文版／北京エクスプローラー／Super City北京／中国網

### 【動画サイト】

北京快漫時代科技

### 【その他】

北京天盛東方廣告有限公司／フリーランスライター／北京漫歩廣告有限公司／北京TOKOTOKO

## ■北京レセプションパーティー（計36社）

### 【テレビ】

CCTV世界電影之旅／中国中央電視台英語チャンネル<文化報道>／テレビ朝日

### 【ラジオ局】

中国国際廣播電台・国際在線／北京人民廣播電台・外国語映画チャンネル

### 【通信社】

新華網

### 【新聞】

香港大公報北京事務所／中国日報／新京報／北京青年報／環球時報／国際商報／21世紀經濟導報／南方都市報／北海道新聞社／読売新聞社・中国総局／西日本新聞

### 【雑誌】

時代影視雜誌／城市漫歩・日本語版／南方人物週刊／三联生活週刊／北京青年／中国報道

### 【フリーペーパー】

佐賀フィルムコミッション／フリーランスライター／北京ジャピンオン

### 【ウェブサイト】

人民網（外文部）／『人民中国』インターネット部／中国網日文版／北京エクスプローラー／Super City北京／中国網

### 【動画サイト】

北京快漫時代科技

### 【その他】

フリーランスライター／北京漫歩廣告有限公司／北京TOKOTOKO

# 取材マスコミ媒体一覧

\*媒体名は順序不同・敬称略

## ■上海開幕式（計61社）

### 【テレビ】

読売テレビ／上海電視台／上海広播電視台／東森電視／CCTV

### 【新聞】

三湘都市報／上海東方早報／中国企業報／旅游時報／經濟日報／世界電影新聞報／成都晚報／佛山日報／文匯報／上海國際日報／三江報／每週広播電視報／週末画報

### 【雑誌】

看電影／視週刊／City bros 城市漫步／文芸風象／Cool輕音樂／世界電影画刊／時代影視／中国与海外／魅力中国／総芸報／影音快通／娛樂大満貫／世界与中国／EASY雑誌／時尚新銳／上海電視周刊／東方電影報道

### 【フリーペーパー】

Whenever上海／コンシェルジュ上海

### 【ペーパー】

Yes娛樂

### 【ウェブサイト】

国家数字娛樂網／看看新聞網／勝功網／CBS Interactive／東方網／搜狐 SOHU／美優網／滬江網／中国網／SPW在線人物週刊／インサイトチャイナ／MOMOKO(摩摩客)正在東京／天下英才／56網／東方IC網／南方觀察／上海エクスペローラー／MM616

### 【携帯サイト】

中投視訊文化伝媒

### 【その他】

環球影像商業撮影公司／上海國際映画祭事務室／上海電影（集團）有限公司／上海TOKOTOKO

## ■上海レセプションパーティー（計46社）

### 【テレビ】

読売テレビ／上海電視台／上海広播電視台／東森電視

### 【新聞】

三湘都市報／上海東方早報／中国企業報／旅游時報／經濟日報／世界電影新聞報／成都晚報／佛山日報／文匯報／上海國際日報

### 【雑誌】

看電影／視週刊／City bros 城市漫步／文芸風象／Cool輕音樂／世界電影画刊／時代影視／中国与海外／魅力中国／総芸報／影音快通／娛樂大満貫／世界与中国

### 【フリーペーパー】

Whenever上海

### 【ペーパー】

Yes娛樂

### 【ウェブサイト】

看看新聞網／CBS Interactive／東方網／搜狐 SOHU／滬江網／中国網／SPW在線人物週刊／インサイトチャイナ／MOMOKO(摩摩客)正在東京／天下英才／56網／東方IC網／南方觀察

### 【携帯サイト】

中投視訊文化伝媒

### 【その他】

環球影像商業撮影公司／上海電影（集團）有限公司／上海TOKOTOKO

# 掲載事例 その1

メディアの報道～中国語

## CCTV6 世界映画の旅

日本电影周拉开序幕 《琉神玛布亚》 展映引人注目



## CCTV6 世界映画の旅

北京日本电影周各影院展开 栗原小卷诉中国情结



## 新華每日電訊

日本电影周“登陆”上海国际电影节

## CCTV6 世界映画の旅

日本电影周展映 开幕影片“夕阳64年” 获一致好评



## CCTV6 世界映画の旅

常盘贵子专访：《片场杀机》找回“原来的电影”



## 人民網

“2012北京·日本电影周”开幕式隆重举行

## 掲載事例 その2

メディアの報道～中国語

新華網

日本电影周“登陆”上海电影节 展现震后影视产业新活力

新華網

出席开幕式的嘉宾集体亮相

日本电影周“登陆”上海电影节 展现震后影视产业新活力

2012-06-18 16:03:40

www.news.cn

新华网

sh.xinhuanet.com

新华网上海6月18日电(许晓青、于希茜)日本新片《永远的三丁目的夕阳64年》在第十五届上海国际电影节上引起轰动。作为本届电影节日本电影周的开幕影片,“三丁目的夕阳”通过温馨的社区故事为震后日本民众提振信心,同时也展现了日本大地震后影视产业的新活力。

去年三月日本大地震发生后,上海国际电影节组委会与日本电影界持续保持联系,确保了日本影片去年六月顺利参展电影节。一年多过去,日本电影再度亮相上海电影节,获得中日两国电影界人士好评。

本届电影节日本电影周汇集了12部日本震后拍摄的新片,除了“三丁目的夕阳”,还有《东京公园》、《片场杀机》、《魂神Mabuyer》、《女演员》等。日本电影导演青山真治、佐野智树、土井裕泰、寺西一浩,演员常盘贵子、广末凉子、须贺健太等走上了本届电影节的红毯,并参加各项活动。

日本电影制作者联盟会长大谷信义说,“三丁目的夕阳”是去年日本大地震前后完成的一部老片新拍的经典案例。遭遇地震后,剧组一度暂停拍摄,后来导演考虑到电影成功拍摄本身也可提振观众信心,最终坚持完成了摄制工作。

值得一提的是,在今年的上海电影节日本电影周上,还有多部中日跨国题材片、中日演员联合参拍片亮相。日本国际交流基金理事长安藤裕康说,希望通过这些现代日本电影的代表作,向中国观众展示日本的新生活与新文化,加深两国人民的友谊。(完)

新华网(组图)

2012年06月16日 16:23 来源:新华网



出席开幕式的嘉宾集体亮相 新华网方艺晓摄

新华网北京日本频道6月15日电(记者方艺晓 薛天依)6月14日下午,由国家广电总局、中日友好电影节实行委员会共同主办的2012“日本电影周”在北京万达国际影城开幕。中国国家广电总局电影管理局局长童刚、日本驻华大使馆公使榎之内秀久和山田重夫、日中友好协会副会长栗原小卷、日中友好电影节实行委员会理事长取忠、日本电影《东京公园》导演青山真治、日本电影《魂神 Mabuyer 剧场版》导演佐野智树、主演山田孝太郎、日本电影《永远的三丁目的夕阳 64年》主演须贺健太,以及中国电影导演霍建起、新亚洲等也出席了开幕式。

北京青年報

日本电影周开幕 栗原小卷昨助阵

YNET.com 日本电影周开幕 栗原小卷昨助阵

2012-06-17 09:59:00 来源: YNET.com 北京报道



中新网北京6月17日电(记者李晨)本届“日本电影周”精选了20部日本震后拍摄的最新最有人气的日本电影。《国》、《生天》、《东京公园》、《永远的三丁目的夕阳64年》选为了本届电影周的开幕式影片。此外,参展影片还有《东京公园》、《上野的樱花》、《山道》、《爱川生活》、《东京乱太郎》、《樱木日和》等。

“中日友好电影节”已创办40年,在中日两国间架起了“日本电影节”和“中国电影周”,已被两国政府认定为“最能中日两国间沟通与对话”的重要国际交流方式。

编辑:李晨 记者:李晨

北京青年報

日本电影: 比想象多出的那些可能性

YNET.com 日本电影: 比想象多出的那些可能性

2012-06-17 09:59:00 来源: YNET.com 北京报道



中新网北京6月17日电(记者李晨)本届“日本电影周”精选了20部日本震后拍摄的最新最有人气的日本电影。《国》、《生天》、《东京公园》、《永远的三丁目的夕阳64年》选为了本届电影周的开幕式影片。此外,参展影片还有《东京公园》、《上野的樱花》、《山道》、《爱川生活》、《东京乱太郎》、《樱木日和》等。

“中日友好电影节”已创办40年,在中日两国间架起了“日本电影节”和“中国电影周”,已被两国政府认定为“最能中日两国间沟通与对话”的重要国际交流方式。

编辑:李晨 记者:李晨

北京青年報

“小众电影”悄然风行 日本电影周一票难求

YNET.com “小众电影”悄然风行 日本电影周一票难求

2012-06-17 09:59:00 来源: YNET.com 北京报道



中新网北京6月17日电(记者李晨)本届“日本电影周”精选了20部日本震后拍摄的最新最有人气的日本电影。《国》、《生天》、《东京公园》、《永远的三丁目的夕阳64年》选为了本届电影周的开幕式影片。此外,参展影片还有《东京公园》、《上野的樱花》、《山道》、《爱川生活》、《东京乱太郎》、《樱木日和》等。

“中日友好电影节”已创办40年,在中日两国间架起了“日本电影节”和“中国电影周”,已被两国政府认定为“最能中日两国间沟通与对话”的重要国际交流方式。

编辑:李晨 记者:李晨

# 掲載事例 その3

メディアの報道～中国語

人民網专访出席2012日本电影周的常盘贵子女士

中文導報日本电影周一票难求



新浪網日本电影周昨开幕

新浪網上海电影节常盘贵子娇俏可爱走红毯

騰訊網上影节：日本电影周人气爆棚



土豆網《片场杀机》常盘贵子、阿米尔·纳德瑞 2012年6月16日上海电影节见面会

Gewara@電影

《片场杀机》：文艺电影的无助呐喊



# 掲載事例 その4

メディアの報道～中国語

SOHU網

2012年日本映画周6月启动  
《三丁目3》成开幕片



SOHU網

搜狐视频人文影展  
《东京公园》展映获赞



SOHU網

专访《东京公园》导演青山真治：  
我不怕失败



SOHU網

常盘贵子亮相《CUT》放映会  
期盼多拍文艺片



SOHU網

专访纯电电影专业户土井裕泰：  
我是幸运幸福的



SOHU網

车永莉出席日本电影周  
帅气干练形象人气高



# 掲載事例 その5

メディアの報道～中国語

SOHU網  
2012日本电影周特集



**Japan 2012 日本电影周**

**专访《东京公园》青山真治：我不怕失败**

专访：《东京公园》青山真治 专访：《东京公园》青山真治：我不怕失败

**《魂斗罗布衣》为2012日本电影周揭幕**

4月14日下午，第12届日本电影周在浦东滨江国际影城盛大拉开帷幕。

**线上日本电影周**

三部作品让你爱上

SOHU網  
线上日本电影周



**映东画瀛**

**映**

**家族风情**

**武士之道**

**没头脑笑剧**

**纯爱中毒**

**社会现实主义**



# 掲載事例 その7

メディアの報道～日本語

人民網日本語版  
北京・日本映画週間  
栗原小巻さんを単独インタビュー

人民網日本語版  
北京・日本映画週間  
青山真治監督を単独インタビュー

人民網日本語版  
上海・日本映画週間  
モデル吉松育美さん「中国進出したい」



栗原小巻さん「海外で日本人の認知度を高める中国で撮影する」2012北京・日本映画週間の開幕式が4日、北京で行われた。開幕式では、中国で10日間の日本映画週間を開催し、中国で最も有名な俳優の栗原小巻さんや映画監督の青山真治さんなどが参加した。2012年の北京映画週間は、中国で最も有名な俳優の栗原小巻さんや映画監督の青山真治さんなどが参加した。2012年の北京映画週間は、中国で最も有名な俳優の栗原小巻さんや映画監督の青山真治さんなどが参加した。



栗原小巻さん「海外で日本人の認知度を高める中国で撮影する」2012北京・日本映画週間の開幕式が4日、北京で行われた。開幕式では、中国で10日間の日本映画週間を開催し、中国で最も有名な俳優の栗原小巻さんや映画監督の青山真治さんなどが参加した。2012年の北京映画週間は、中国で最も有名な俳優の栗原小巻さんや映画監督の青山真治さんなどが参加した。



栗原小巻さん「海外で日本人の認知度を高める中国で撮影する」2012北京・日本映画週間の開幕式が4日、北京で行われた。開幕式では、中国で10日間の日本映画週間を開催し、中国で最も有名な俳優の栗原小巻さんや映画監督の青山真治さんなどが参加した。2012年の北京映画週間は、中国で最も有名な俳優の栗原小巻さんや映画監督の青山真治さんなどが参加した。

中国網日本語版  
「2012北京・日本映画週間」  
北京で華やかに開幕式

中国網日本語版  
常盤貴子さん：「仕事が忙しい時はまるで受験生のように」

中国網日本語版  
90後の須賀健太さん：  
中国の監督との撮影に期待大





